

機械器具 3 医療用消毒器
小型包装品用高圧蒸気滅菌器 JMDN コード 38671020
管理医療機器 特定保守管理医療機器

V240 タイプ B

****【警告】**

1. 滅菌室の針が「0」の時以外は絶対にドアを開けないこと。[火傷や怪我をする恐れがあります。]
2. 滅菌器、被滅菌物は高温になるので火傷に注意すること。

【禁忌・禁止】

1. 蒸気を通さない容器・袋に被滅菌物を入れて滅菌しないでください。[滅菌不良や故障の原因になります。]
2. 培地・液体・薬品を滅菌しないでください。[薬品類は爆発を起こしたり、機器を腐食させたりするものがあり、火傷や怪我の原因になります。]
3. 可燃性麻酔剤などが存在する引火性のある環境で使用しないでください。[防爆型の機器ではないため、引火又は爆発を誘引する可能性があります。]
4. 作動させたまま外出しないでください。[万一本器に異常が発生した場合に対処が行えず事故につながる恐れがあります。]
5. 被滅菌物を直接チャンバーに触れさせないでください。[被滅菌物を焦がす原因になりますので、必ず専用のトレイ等を使用してください。]

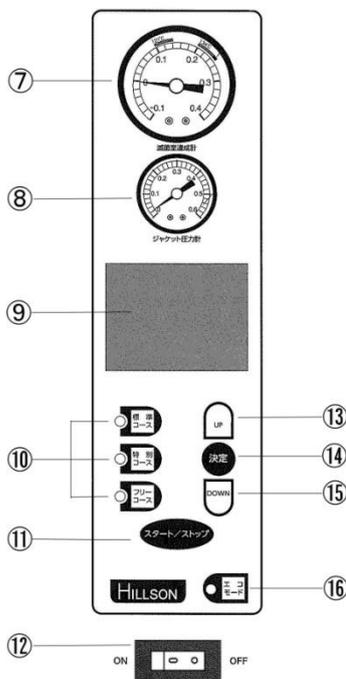
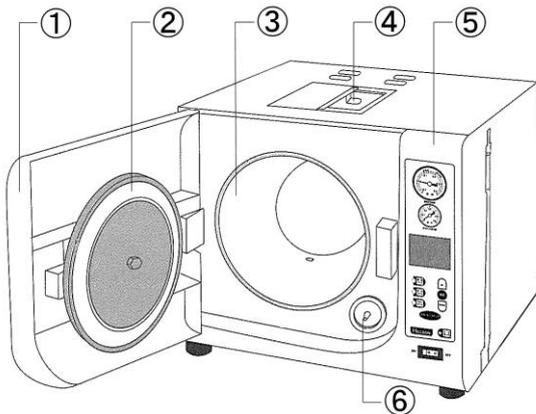
【形状・構造及び原理等】

本体外観



使用説明書等を必ずご参照ください

各部の名称



No.	名 称
①	ドア
②	フタパッキン
③	滅菌室（チャンバー）
④	給水タンク給水口
⑤	操作パネル
⑥	無菌フィルター
⑦	滅菌室連成計
⑧	ジャケット圧力計
⑨	液晶ディスプレイ
⑩	コース選択キー
⑪	スタート/ストップキー
⑫	電源スイッチ
⑬	UP キー
⑭	決定キー
⑮	DOWN キー
⑯	エコモードキー

詳細については取扱説明書の「4. 各部の名称および付属品一覧」
「5. 操作パネルの名称」を参照してください。

〈作動・動作原理〉

1. 概要

微生物を不活性化する滅菌材として湿熱（水蒸気）を利用した医療用の滅菌器で、包装された手術器具等を滅菌するための運転サイクルを有する装置である。

2. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類	クラス I 機器
水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IPX0
作動（運転）モードによる分類	連続作動（運転） 機器

3. 電氣的定格

交流・直流の別	交流
定格電圧	100V±10%
周波数	50Hz/60Hz
消費電力	1.4kW

使用説明書等を必ずご参照ください

4. 品目仕様

最高使用圧力	0.22MPa	
滅菌温度 滅菌時間	標準コース	
	134℃	121℃
	5分	20分
	フリーコース	
	134℃	121℃
	滅菌温度毎の最低設定時間～30分	
乾燥時間	60分以下	

5. 動作原理

蒸気発生装置は外部から供給された水をヒーターで加熱して蒸気を発生させ、ジャケットに供給する。

ジャケットに蒸気が溜まり、設定圧力に到達すると運転が開始できる状態となる。

被滅菌物を滅菌室に収納し、運転が開始されると、真空ポンプにより、滅菌室内の残留空気が排除される。

その後、ジャケットから滅菌室に蒸気が供給され飽和状態を保ちつつ圧力と温度が上昇していく。滅菌設定温度に到達すると滅菌工程を開始する。

飽和蒸気の湿熱により被滅菌物が滅菌される。

滅菌工程が終わると蒸気を排水タンクに排気する。

設定時間、乾燥を行い完了となる。

【使用目的又は効果】

高圧を有する蒸気を容器に導入し湿熱を利用して医療に使用する器具機材等を滅菌すること。

【使用方法等】

1. 使用の準備

電源スイッチを「入」にする。

準備中と表示され、蒸気を生成する。

ジャケット内に蒸気が溜まり設定温度に到達すると準備完了となり準備中の表示が消える。

2. 操作方法

1) ドアを開け、被滅菌物を滅菌室に収納する。

2) ドアを閉める。

3) 操作パネルでコース選択をし、スタートする。

4) スタート/ストップキーを押す（以下は自動工程）。

① 真空ポンプが作動し、滅菌室の空気を排除する。

② 滅菌温度に達すると滅菌工程に移る。

③ 滅菌工程が完了すると乾燥工程が始まる。

④ 全工程が完了すると工程表示の「完了」が点灯し、電子音が鳴る。

5) ドアを開け、滅菌室から被滅菌物を取り出す。

詳細については取扱説明書の「7. 操作方法」を参照してください。

**【使用上の注意】

1. 被滅菌物同士は、出来るだけ隙間を空けて収納してください。詰め過ぎると蒸気の浸透が妨げられ滅菌できない恐れがあります。バイオリジケータを用いて、被滅菌物の収納状態・量等の滅菌条件を決定してください。

2. 滅菌効果は被滅菌物の収納方法等で変わります。ケミカルインジケータと一緒に収納し滅菌効果の確認をしてください。

3. 異常時（焦げ臭いなど）は、スタート/ストップキーを押して運転を停止し、電源スイッチを「切」にしてください。

4. 本器は水平な安定した場所に設置し、また側面及び後面は壁から15cm以上離し天面は開放できる場所に設置してください。

5. 長期間使用しなかった場合は点検を受けるなど、作動上の安全を確認してから使用してください。

使用説明書等を必ずご参照ください

6. 一日の使用後は必ず電源スイッチを切ってください。
7. 使用中に警報が鳴った場合は取扱説明書の「12. 警報及び対処方法」の章の説明に従って対応してください。
8. 電源プラグは必ずコンセントに取り付け、延長コードへの接続による使用はしないこと。
9. 水槽タンクに水を入れたまま移動しないこと。〔水がこぼれるなど、感電の原因になります。〕

詳細については取扱説明書の「3. 安全上のご注意」「6. 設置方法」「7. 操作方法」「8. インストゥルメントの準備とセット」を参照してください。

【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜耐用期間＞

保守点検及び専門業者による定期点検を適切に実施して製造出荷後7年。（自己認証による）

使用環境・保管条件

使用環境	周囲温度： 5～40℃
	相対湿度： 85%RH 以下（結露なし）
	気圧 790hPa～1014hPa
保管条件	周囲温度： 5～40℃
	相対湿度： 85%RH 以下（結露なし）
	気圧 790hPa～1014hPa

**【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

1. 清掃は電源スイッチを「OFF」にして圧力計の針が「0」になっていること、本器が冷めていることを確認してから行うこと。
2. 滅菌チャンパー内の清掃
水又はアルコールをしみ込ませた柔らかい布でチャンパー内を拭き取り清掃してください。/毎日
3. ドアパッキンの清掃
水又はアルコールをしみ込ませた柔らかい布でドアパッキ

- ンを拭き取り清掃してください。/毎日
4. 排水フィルターのお手入れ /1週間に1回
5. 無菌フィルターの交換 /1年に1回
6. 電源プラグの確認 /1年に1回
7. ドアパッキンの交換 /1年に1回
8. ボタン電池 /1年に1回

詳細については取扱説明書の「9. 定期点検」「10. お手入れ方法」「11. 故障かな?と思ったら」を参照してください。

＜業者による保守点検事項＞

1. 2年に一度、弊社指定の専門業者による点検を行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

ヒルソン・デック株式会社
埼玉県鴻巣市宮前 547-1
TEL 048 (595) 0380

製造元

ヒルソン・デック株式会社
埼玉県鴻巣市宮前 547-1

使用説明書等を必ずご参照ください